

商店街活性化事業計画の概要

地 域	山形県酒田市	認定日	平成23年4月18日
-----	--------	-----	------------

事業名：酒田・ド真ん中“和み”と“賑わい”創造計画

事業者名： 中町中和会商店街振興組合
事業実施期間： 平成23年4月～平成26年3月

■商店街活性化事業の概要

近年は郊外型大型店との競合に苦慮していることに加え、1年後に駅前の百貨店が撤退する予定となっており、多大な影響が懸念される。

こうした状況を打破するために、百貨店撤退の約1年前である平成23年4月より活性化事業計画を策定し賑わい創出、商店街の活性化に取り組むこととした。

その計画のタイトルを「酒田・ド真ん中“和み”と“賑わい”創造計画」とし、幅広い世代の多くの方々から足を運んでいただき、寛ぎ、楽しめる商店街を目指す。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

アンケートの結果、個別の意見や不満として、「活気がない」、「欲しい商品がない」等との回答が多かった。また、地域の課題として、「高齢化」、「コミュニティの機会」、「育児・子供の居場所」等との回答が多かった。また、商店街で実施しているイベント等のPR不足に関する意見もあった。

◆実施計画の主な内容

①「もしえの中町・行ぎでの中町」事業

毎回テーマを設けて子供から高齢者まで幅広く参加できる催しを、4月～12月の間、ストリートミュージシャン・フェスティバルやドリームライブ&クリスマスサンタセールinイルミネーション等、テーマを変えながら月1回程度商店街内で開催する。

これまで実施してきた集客イベントと大きく違うところは、地域住民、グループ、団体、法人等と連携協力することで、バラエティ豊かなイベント内容となっていること、イベント当日は誰もが参加しやすい方法を工夫しているという点である。各種イベントは本計画終了後も引き続き実施内容等を検討しながら実施していく。

②「買いでの中町・知りでの中町」事業

各種イベント開催等の情報発信は元より、買物MAPを作成・配布することにより、商店街及び組合員についての様々な情報を知ってもらうことで、イベント開催時だけでなく、その他の期間であっても、より気軽に商店街への来街が期待できる。また、組合員の各個店に統一デザインのウェルカムボードを設置することにより、情報発信と同時に商店街の一体感を醸成し、商店街のイメージアップによる来街者の増加が期待できる。

③活性化事業推進委員会の設置、開催

中町中和会商店街の活性化事業全体の運営管理にあたる組織、商店街組合理事および外部として酒田市、酒田商工会議所、有識者を含める委員会を設置。各事業の進捗確認、目標としている集客効果、売上効果をあげるためのサポートを目的に年2回開催する。また、掲げた数値目標の達成度、二次効果等の検証を行う。

■商店街活性化事業計画の目標

酒田市による直近の平成22年10月の1日の歩行者通行量782人を、事業終了の3年後の平成25年10月時点で781人と、ほぼ現状維持することを目標とする。

【中町中和会商店街イベントの様子】



【中町中和会商店街の様子】

